

書名：2種冷凍機械責任者試験 合格問題集

発行：2024年2月22日 第1版第1刷発行

ISBN：978-4-274-23158-2

発生刷数	頁数 位置	正誤内容	
		誤	正
1刷	P.4 問題3) の解説 3行目	35℃以上であるものは、高圧ガスである。	35℃以下であるものは、高圧ガスである。
1刷	P.13 問題1) の解説 1行目	「冷凍能力 3t/日以上に技術上の基準」	「冷凍能力 3t/日以上で技術上の基準を適用」
1刷	P.13 問題2) の解説 1行目	「冷凍能力 3t/日以上に技術上の基準」	「冷凍能力 3t/日以上で技術上の基準を適用」
1刷	P.13 問題6) の解説 1行目	「冷凍能力 3t/日以上に技術上の基準」	「冷凍能力 3t/日以上で技術上の基準を適用」
1, 2刷	P.36 問題5) の解説 5行目	2.1kW	1.2kW
1, 2刷	P.36 問題5) の解説 5行目	2.1kW	1.2kW
1刷	P.175 問題1ハ の解説 2行目	圧縮機の吸込み蒸気量が増加し、	圧縮機の吸込み蒸気量が減少し、
1刷	P.188 問題2イ の解説 2-3行目	蒸気圧が低下（図 2.1 において 3'→3）すると、蒸発温度が低下（ $t_k' \rightarrow t_k$ ）する。	蒸気圧が低下（第3章の図 3.24 において 4→4'）すると、蒸発温度が低下（ $t_0 \rightarrow t_0'$ ）する。

1刷	P.267 問題 1 ハ の解説 1-2 行目	水冷凝縮器は、冷却水側の <u>熱伝達率</u> を利用して冷媒蒸気を凝縮する。	水冷凝縮器は、冷却水側の <u>顕熱</u> を利用して冷媒蒸気を凝縮する。
1刷	P.275 問題 2 ロ の解説	ロ 誤り。乾式蒸発器において、一般に、冷媒の管内熱伝達率は乾き度の増加とともに低下し、過熱領域では蒸発器の熱交換にほとんど寄与しない。過熱領域の伝熱面積を小さくするため、被冷却物と冷媒は向流で熱交換させて、被冷却物と冷媒の <u>平均温度差</u> が大きくなるようにする。	ロ 誤り。乾式蒸発器において、一般に、冷媒の管内熱伝達率は乾き度の増加とともに <u>大きくなる</u> が、蒸発する液がなくなる乾き度 1.0 付近からは過熱蒸気の気体のみになるので熱伝達率は極端に小さくなるため、過熱領域では蒸発器の熱交換にほとんど寄与しない。過熱領域の伝熱面積を小さくするため、被冷却物と冷媒は向流で熱交換させて、被冷却物と冷媒の温度差が大きくなるようにする。
1刷	P.280 問題 6 ハ の解説 1 行目	庫内温度を <u>-5°C</u> 程度の低い温度に	庫内温度を <u>5°C</u> 程度の低い温度に